

幼児文化芸術

品格は文化芸術から

先日、私の園で「食卓マナー」の体験プログラムが行われました。講師の先生からは、食器の置く場所、お箸の持ち方、使い方、三角食べを教えていただきました。結果、昔の子どもに比べると、扱い方がわからない子どもが多く見られました。昔は皆厳しく「はしの上げおろし」をしつけられたのですが、パン食や様々な食文化が入り、「日本の型文化」が薄らいできた感じがしました。「文化」とは生活の型（ライフスタイル）を学び、広くは民族性を感得したもので、そして様々な文化を基礎に、その人らしさを磨き上げた表現が「芸術」となります。

今年度より会員園で実施されているプログラムは、型を大切にしながら日本文化、様々な国の生活や遊びを楽しむ異文化を体験する本財団ならではのものです。挨拶、返事、食事のマナーは基より、世界の様々な国の色や形、音色、雰囲気味わうことは、品格を育てます。品格は文化芸術から始まります。会員園での文化芸術体験を通して品格あるお子様を共育していきましょう。また来年3月23日には、集大成として幼児文化芸術祭で「幼児第九」を発表します。ご期待ください。

(財)幼児文化芸術協会

会長 岡田勝彦

2013年11月吉日
第2号

発行：



一般財団法人
幼児文化芸術協会

会員園ご紹介

栄光八事幼稚園(天白区)
志だみ幼稚園(守山区)
中央台幼稚園(春日井市)
とみよし幼稚園(愛西市)
名古屋西幼稚園(西区)
鳴海ヶ丘幼稚園(緑区)
美里幼稚園(豊田市)

※50音順

志だみ幼稚園

幼児文化芸術祭

In Shidami



6月26日、園内の講堂では「金管楽器コンサート」と「親子ヨガ」を交互に、教室では「民族楽器」「抹茶」「折り紙」のコーナーを設定し、親子で自由に体験してもらいました。抹茶などは子どもたちには難しいかなと思いつつ日本文化に触れるよい機会と思い、取り入れたのですが、終了後のアンケート子ども部門第一位が「抹茶」でした。大人はどうしても礼法・作法が気になり気後れしてしまいがちですが、子どもは新しいもの初めてのものには興味津々、好奇心が先に立つのだと再確認できました。また保護者の方も普段体を動かすことも少ない中、講堂で子どもと一緒に親子ヨガを楽しんだり、日常生活で、生でなおかつ身近な場所でも聴くことのない金管楽器の音色を楽しんだりしていました。これからも技術の習得ではなく親子で共に本物に触れる機会を作っていきたいと思えます。



会員園トピックス

とみよし幼稚園

アルパ体験



アルパとは南米で使われている小型のハープの事で、ラテンハープとも言われています。カーテンの脇からパラグアイの民族衣装を着た女性が出てくると、歓声が上がりました。演奏が始まると、身を乗り出すように聞き入って(見入って)います。中にはじっとしたまま動かない子もいました。演奏が終わると、いよいよアルパに触れる体験時間です。クラス毎にアルパの周りに集まり、順番にポロンと鳴らしてみます。子どもの指でも綺麗な音が響きます。2度3度と鳴らす子もあり、教師も子ども達も笑顔でした。一通り体験が終わると演奏会を再開しました。「コーヒールンバ」「コンドルは飛んでいく」といった大人向けの曲や「トトロ」や「アンパンマン」などの子ども向けの曲などが演奏されました。アルパの響きがホールを満たす中、子ども達も保護者の方も和やかな表情で過ごすことができました。普段は触れる機会のないハープ類ですので、大人にも子ども達にも大変良い経験となりました。

第1回夏季保育者研修会開催

8月5日(月)栄ガスビルにて、第1回夏季保育者研修会が行われました。素晴らしい講師の方々をお招きし、文化芸術プログラムを体験しました。

- | | | |
|-----|---------|-----------|
| 第1部 | マナー教室 | 加藤好美先生 |
| 第2部 | 歌唱指導 | 豊田かおり先生 |
| 第3部 | ダンスレッスン | 武澤秀一・幸子先生 |



参加された先生方からは、単に文化芸術を体験するだけでなく、人生そのものに役立つ、幸せで豊かになる内容であったとの感想が多数寄せられました。

第2回 幼児文化芸術祭 開催決定!

日時: 平成26年3月23日(日)
場所: 地球博記念公園(モリコロパーク)内
地球市民交流センター

※ 幼児第九の発表、親子ダンスなどが行われる予定です。

